

アルミテープは成形の必需品・重要です。

型面にアルミテープを貼る。

紫外線が反射して、シートの裏側からも硬化が進みます。(絶対条件です。)
シートが硬化したらアルミテープを剥がして下さい。

アルミテープの下地にはマスキングテープが必要。

作業終了後にアルミテープを剥がす必要がある場合、粘着力が強くて剥がれなくなりますので、粘着力が弱いマスキングテープを下地に貼って下さい。

ボール紙やダンボールで型を作る。

ボール紙にアルミテープを貼ってからシートを貼って下さい。

部分的にシートを硬化させる。

作業手順上、後で硬化させる部分がある場合は、その部分にアルミテープを貼って日光を遮って下さい。



シートを押さえるものがない空間で成形する。

シートにアルミテープを貼り「コシ」を与えて指などで形を整えて下さい。



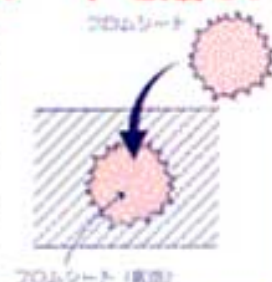
角張った成形品を作る。

別々に硬化させたシートのつなぎ目に細く切ったシートを貼って接着して下さい。



肉厚の大きい破損修理は表裏にシートを貼る。

破損修理は裏面からシートを貼り硬化させて表面をパテと塗装で仕上げますが、肉厚の大きい破損部分は、破損修理した表面の段差を少なくするため表面破損部分の形に切ったシートを貼って、硬化後にパテ・塗装で仕上げして下さい。
※段差が大きい場合は、シートを必要枚数貼って下さい。(硬化させて貼るを繰り返して)



シートを重ねて貼る。(強度up)

硬化させたシートをサイディングして、その上にシートを重ねて下さい。

フロムシートは空気に触れると硬化が遅くなる。

紫外線を当てる側の保護フィルムを剥がさないで紫外線を当てると、早く硬化します。表面もきれいになります。

部分的にシートを貼って硬化させる。

作業をやりやすくするためにシートの一部分だけを硬化させる場合、その部分にカッターの歯を浅く入れ、保護フィルムだけを切って剥がしてシートを貼って下さい。



局面に沿わせてシートを貼る。

シートを貼った反対側(上)の保護フィルムも一旦剥がして、再度局部に貼りなおし、指で押さえて形状に沿わせて下さい。ヘアードライヤーで温めると、シートが柔らかくなり更に効果的です。



厳しい局面部分は、貼ったシートのシワの部分にカッターナイフで切り込みを入れ、指で強く押さえて下さい。

保護フィルムには裏表があります。

貼りなおす保護フィルムは、粘着防止加工面をシートに当てて下さい。



立体の成形品は分割して作る。

形状を見て、なるべく平面の部分を選び部分的に硬化させてから別の部分を作って下さい。